

来年度の活動に向け、湿地再生・植生管理部会では、今年もミズアオイ再生地の草刈りや湿地の畔づくりなどの作業を行っています。

また、自然公園部会では、市が主催するワークショップに参加し、第1工区のあさはた緑地の計画づくりのための話し合いを進めています。計画がまとまりましたら、ニュースレターや協議会でも報告していきます。



■第1回専門委員会を開催しました

平成24年2月17日に学識委員が集まり「第1回専門委員会」を開催し、各部会のこれまでの取り組みや課題について話し合いを行いました。委員会では以下の方針が打ち出され、今後は各部会とも話をしながら、活動方針を決定していきたいと考えています。

●各部会の課題と今後の方針(案)

○池沼部会

遊水地に生息する魚類群集が明らかになっていないことから、どのような手法で何を保全していくかが明確になっていない。
⇒他の調査機関との連携も図りながら調査を実施し、調査報告書を基に再生手法の検討を行う。

○湿地再生・植生管理部会

現在、保全活動やモニタリング調査、市民への普及活動に取り組んでいるが、部会員の間に活動の方向性について認識の差があることや、現地作業する人員も不足している。
⇒これまでの調査結果を整理し、調査結果を基に方向性がぶれないように話し合いを進めていく。また、活動の方向性を定めた中で、新たな参加者も募集していく。

○自然公園部会

何を軸に計画を作成するか、具体的にどの自然再生の手法を取り入れるか明確になっていない。また、整備していく上で、外部からの持ち込みや持ち出しに対するルールが明確となっていない。
⇒今後、課題事項も踏まえながら、部会で話し合いを行い計画策定に取り組んでいく。



●これまでの協議会の活動報告

《リレートーク・パネルディスカッションを開催》

湿地再生・植生管理部会では、昨年12月に「麻機遊水地の魅力を語る」と題し、市民を対象としたリレートーク・パネルディスカッションを開催しました。

リレートークでは、本協議会の専門委員が麻機遊水地に生息する動植物の魅力について講義を行い、同時に、麻機遊水地で活動する南沼上柴揚げ漁保存会や、静岡北中学校・高等学校によるパネル展示が行われました。

会場には約100名の参加者が集まり、「興味深い話が聞けた」、「麻機遊水地により関心を持つことが出来た」などの感想を聞く事ができました。



《自然再生協議会情報連絡会議を開催》

環境省が主催する「平成23年度自然再生協議会情報連絡会議」が静岡で開催され、全国各地で協議会を設置し、自然再生事業の活動を実施している構成員が参加しました。

会議は2日間にわたり開催され、各協議会の取り組みの報告や、意見交換、麻機遊水地の現地視察をしました。現地視察では「遊水地の水の管理方法」や「ミズアオイ以外にどのような希少種が見られるか」などの質問が出されました。



【麻機遊水地の自然再生に関する活動の支援、参加を募集しております】 静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398

URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/tomogawa/>